

メディア使用をめぐる環境格差の研究

坂元 章（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

長谷川 真里（横浜市立大学国際総合科学部）

1) 活動の概要

昨年度に引き続き、子どもの QOL や社会性に与える電子メディアの影響について、調査、分析、発表を行った。

2) 調査の概要

小学生の年齢の子どもを対象に、メディア接触状況が子どもの行動や QOL にどのように影響するのかを探ることを目的とし、2 波のパネル調査を予定している。対象は、小学生の子どもを持つ母親であり、ネット調査を行う。その際、社会経済的地位との関係を検討するために、世帯年収（低群、中群、高群）×子どもの学年（低学年、中学年、高学年）の 9 群を割りつける。なお、本調査は、2008 年－2009 年に実施した同調査の修正・発展版であり、母親の一般的養育態度やメディアに対するしつけ態度などをあらたに要因に含めることにより、メディアの影響力を正確に議論することが可能となる。

2011 年 3 月 8 日に第 1 回調査のデータ納品済みである（総計 2063 名）。第 2 回調査は、2011 年 6 月実施予定である。

3) 主な研究業績

3.1 学会発表

・Hasegawa, M. (2010, 7). Effects of Electronic Media Use on Children's QOL :Website Survey for Mothers at the 27th International Congress of Applied Psychology, Melbourne, AU.

・長谷川真里・坂元章（2010 年 9 月）. 電子メディアが子どもの行動傾向に与える影響：ウェブでの母親調査からの検討 日本心理学会大会（日本大学）ポスター発表

3.2 論文

・Hasegawa, M & Sakamoto, A (投稿準備中). Electronic Media's Influence on Elementary School Children's QOL: Internet Survey on Their Mothers. Japanese Journal of Applied Psychology.